

# 香川県民意調査 報告書

令和5年6月

香川県政策部政策課

# 目次

I	調査の概要	3
1	調査目的	3
2	調査項目	3
3	調査方法	3
4	回答状況	3
5	報告書の見方	3
II	調査回答者の属性	5
III	調査の集計結果	7

# I 調査の概要

## 1 調査目的

本調査は、現行の総合計画見直しを実施するに当たり、県民の方々が「普段の生活で感じていること」や「県行政に対して求めること」などをお聞きするため、選挙人名簿から無作為に選んだ3,000名の方々を対象として、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化と人口減少問題の加速や、歴史的な原油・物価高騰など、直近の地域社会経済の大きな変化による県民の意識やニーズの変化について調査を行い、施策の方向性を決める基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査項目

- (1) 香川県の発展に向けて、生かしていくべき香川県の特色として考えられる点
- (2) 香川県が今後改善すべき点
- (3) 定住の意識
- (4) 10年後にどのような香川県になってほしいと思うか
- (5) 人口減少や少子化の進行が、お住いの地域に与えている影響
- (6) 結婚・子どもに関する意識
- (7) 就業に関する意識
- (8) 新型コロナウイルス感染症による意識や生活の変化
- (9) 物価高騰に関する意識や生活の変化
- (10) 今後の県政運営を進めるうえでの必要な取組み
- (11) 香川県に対する意見やメッセージ

## 3 調査方法

### (1) 調査対象の抽出

選挙人名簿から無作為に選んだ3,000名の方々にアンケートを実施した。

### (2) 調査時期

令和5年3月1日(水)～24日(金)

### (3) 調査法

郵送によるアンケート調査

## 4 回答状況

有効回答数 1,390件

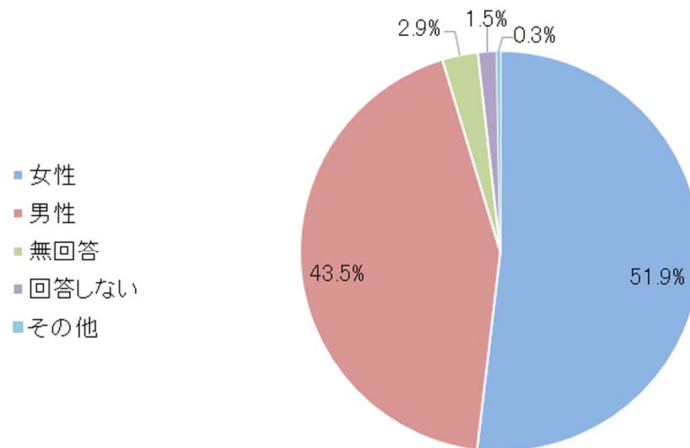
## 5 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。このため、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示している。このため、その比率の合計が100.0%を超える場合がある。

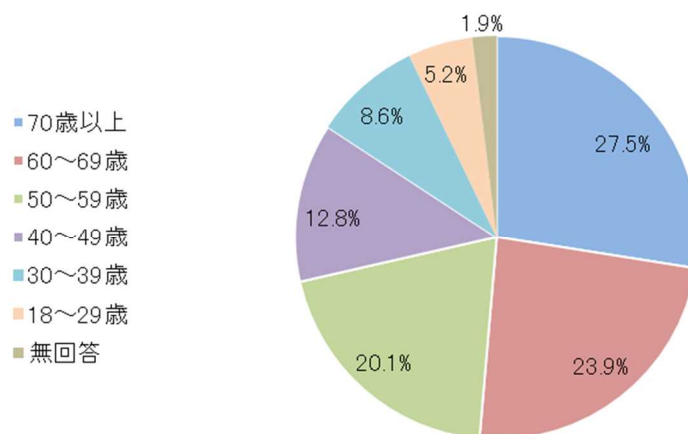
(3) 分析対象者数 (1,390 名) と回答者数が一致しない設問に関しては、各々回答者数 (N) を表示した。

## II 調査回答者の属性

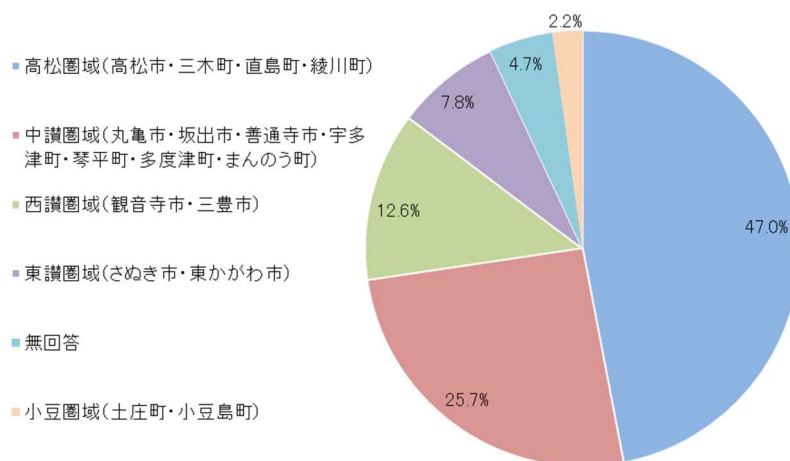
### 1 性別



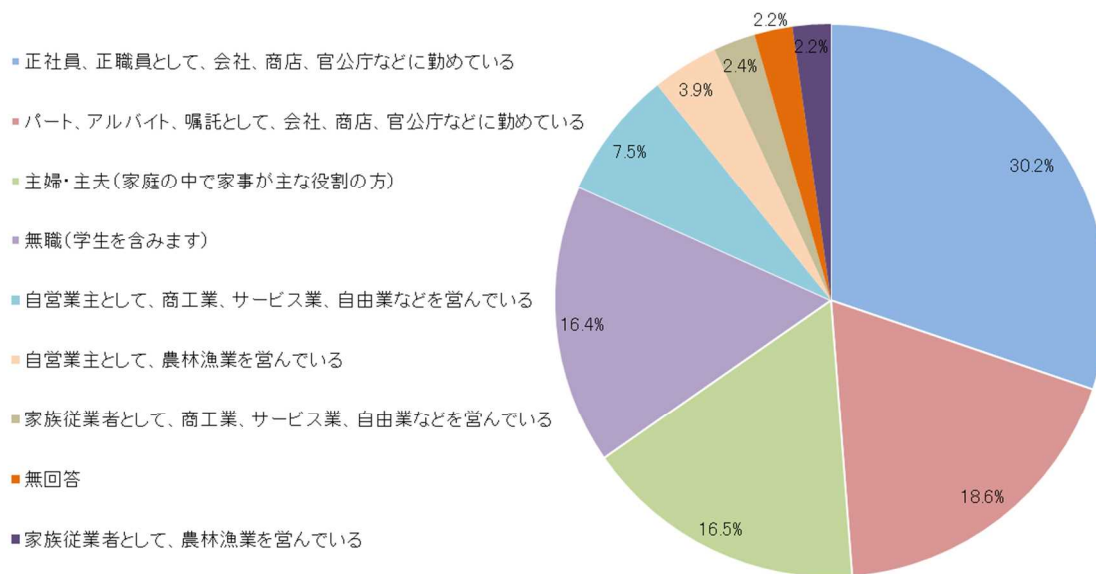
### 2 年齢



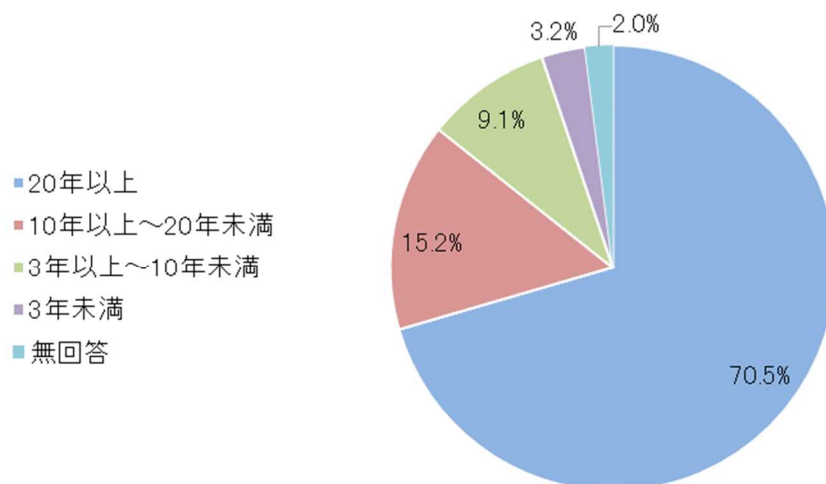
### 3 お住まい



## 4 職業



## 5 お住まいの年数



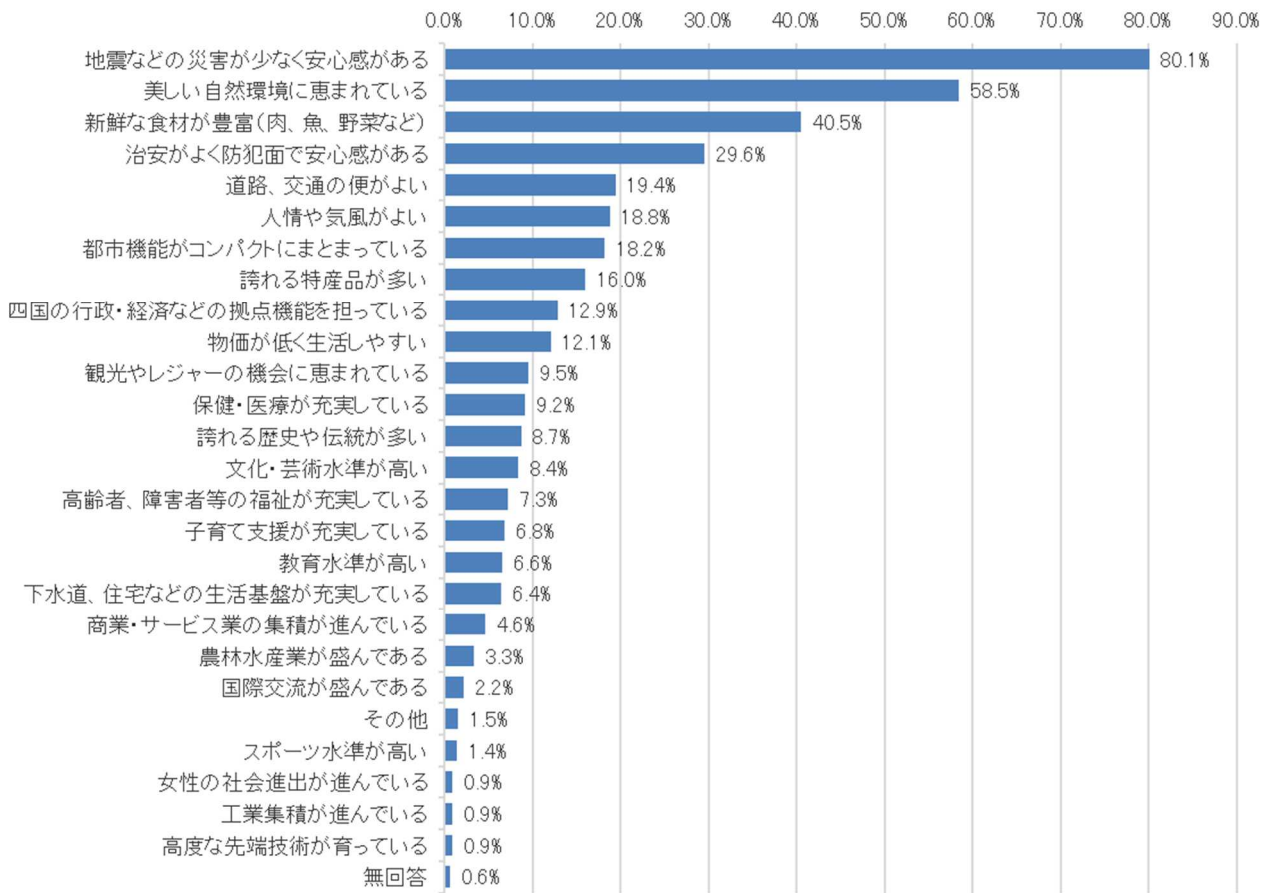
### Ⅲ 調査の集計結果

問1 香川県の発展に向けて、生かしていくべき香川県の特色として考えられる点を下記の各項目の中からお選びください。（○は5つまで）

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 1 美しい自然環境に恵まれている         |                  |
| 2 地震などの災害が少なく安心感がある      |                  |
| 3 治安がよく防犯面で安心感がある        | 4 人情や気風がよい       |
| 5 物価が低く生活しやすい            |                  |
| 6 新鮮な食材が豊富（肉、魚、野菜など）     |                  |
| 7 国際交流が盛んである             | 8 女性の社会進出が進んでいる  |
| 9 高齢者、障害者等の福祉が充実している     | 10 子育て支援が充実している  |
| 11 保健・医療が充実している          |                  |
| 12 商業・サービス業の集積が進んでいる     |                  |
| 13 工業集積が進んでいる            | 14 高度な先端技術が育っている |
| 15 観光やレジャーの機会に恵まれている     | 16 誇れる特産品が多い     |
| 17 農林水産業が盛んである           | 18 道路、交通の便がよい    |
| 19 下水道、住宅などの生活基盤が充実している  |                  |
| 20 都市機能がコンパクトにまとまっている    |                  |
| 21 教育水準が高い               | 22 スポーツ水準が高い     |
| 23 文化・芸術水準が高い            | 24 誇れる歴史や伝統が多い   |
| 25 四国の行政・経済などの拠点機能を担っている |                  |
| 26 その他（具体的に記載してください。）    |                  |

香川県の発展に向けて生かしていくべき香川県の特色として、「地震などの災害が少なく安心感がある」が80.1%と最も高く、これに「美しい自然環境に恵まれている」が58.5%、「新鮮な食材が豊富（肉、魚、野菜など）」が40.5%、「治安がよく防犯面で安心感がある」が29.6%、「道路、交通の便がよい」が19.4%と続いている。

## 香川県の発展に向けて生かしていくべき香川県の特色



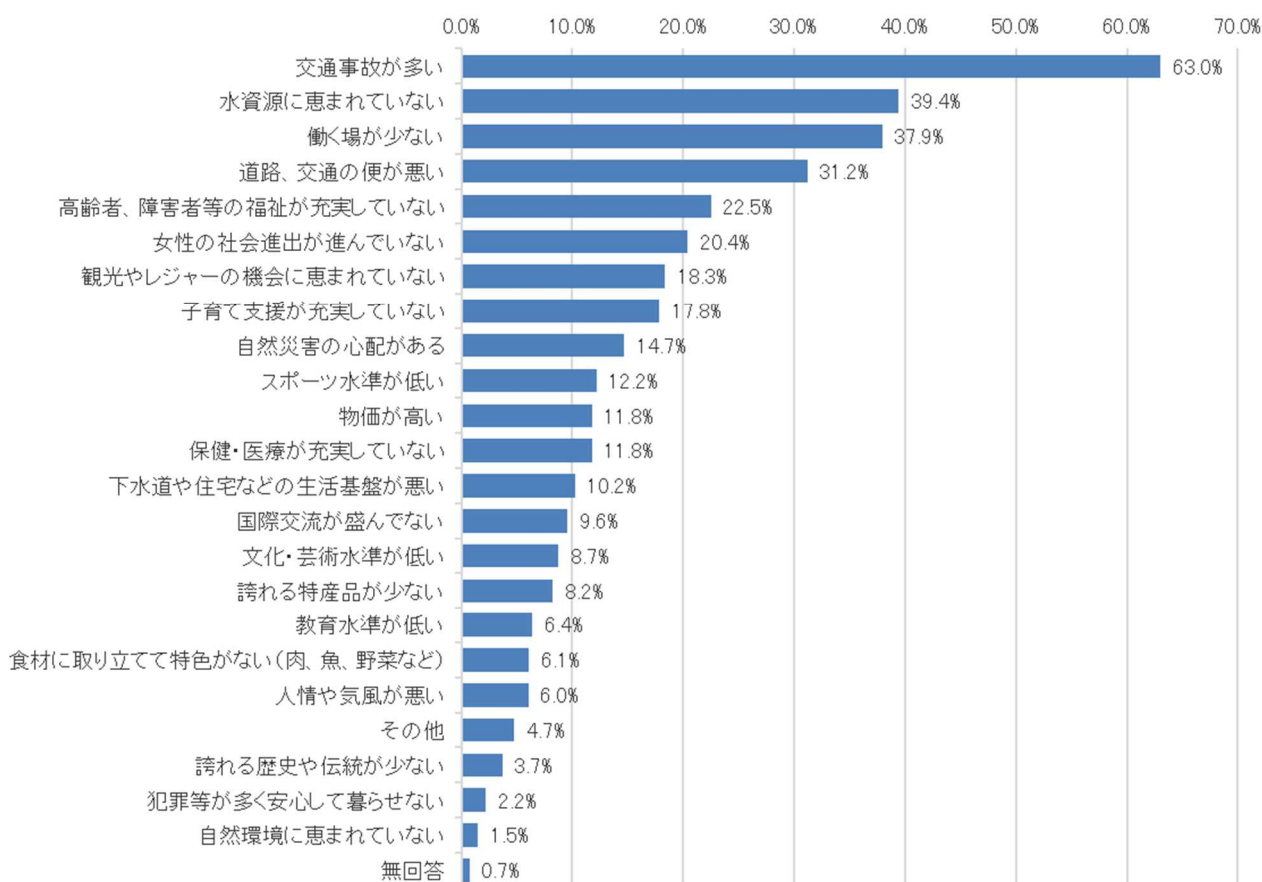


問2 香川県が今後改善すべき点は何だとお考えですか。下記の各項目の中からお選びください。（○は5つまで）

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1 自然環境に恵まれていない            | 2 自然災害の心配がある      |
| 3 水資源に恵まれていない             | 4 犯罪等が多く安心して暮らせない |
| 5 交通事故が多い                 | 6 人情や気風が悪い        |
| 7 物価が高い                   |                   |
| 8 食材に取り立てて特色がない（肉、魚、野菜など） |                   |
| 9 国際交流が盛んでない              |                   |
| 10 女性の社会進出が進んでいない         |                   |
| 11 高齢者、障害者等の福祉が充実していない    |                   |
| 12 子育て支援が充実していない          | 13 保健・医療が充実していない  |
| 14 働く場が少ない                |                   |
| 15 観光やレジャーの機会に恵まれていない     |                   |
| 16 誇れる特産品が少ない             | 17 道路、交通の便が悪い     |
| 18 下水道や住宅などの生活基盤が悪い       | 19 教育水準が低い        |
| 20 スポーツ水準が低い              | 21 文化・芸術水準が低い     |
| 22 誇れる歴史や伝統が少ない           |                   |
| 23 その他（具体的に記載してください。）     |                   |

香川県が今後改善すべき点として、「交通事故が多い」が63.0%と最も高く、これに「水資源に恵まれていない」が39.4%、「働く場が少ない」が37.9%、「道路、交通の便が悪い」が31.2%、「高齢者、障害者等の福祉が充実していない」が22.5%と続いている。

## 香川県が今後改善すべき点



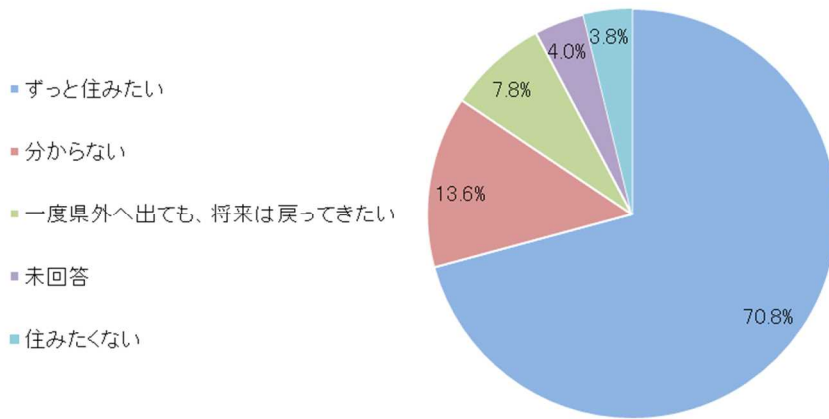
問3 定住の意識についてお聞きします。

(1) 将来も香川県に住みたいと思いますか。下記の各項目の中から1つお選びください。

- |           |                      |
|-----------|----------------------|
| 1 ずっと住みたい | 2 一度県外へ出ても、将来は戻ってきたい |
| 3 住みたくない  | 4 分からない              |

将来も香川県に住みたいと思うかどうかについては、「ずっと住みたい」が70.8%と最も高く、これに「分からない」が13.6%、「一度県外へ出ても、将来は戻ってきたい」が7.8%と続いている。

## 将来も香川県に住みたいと思うか



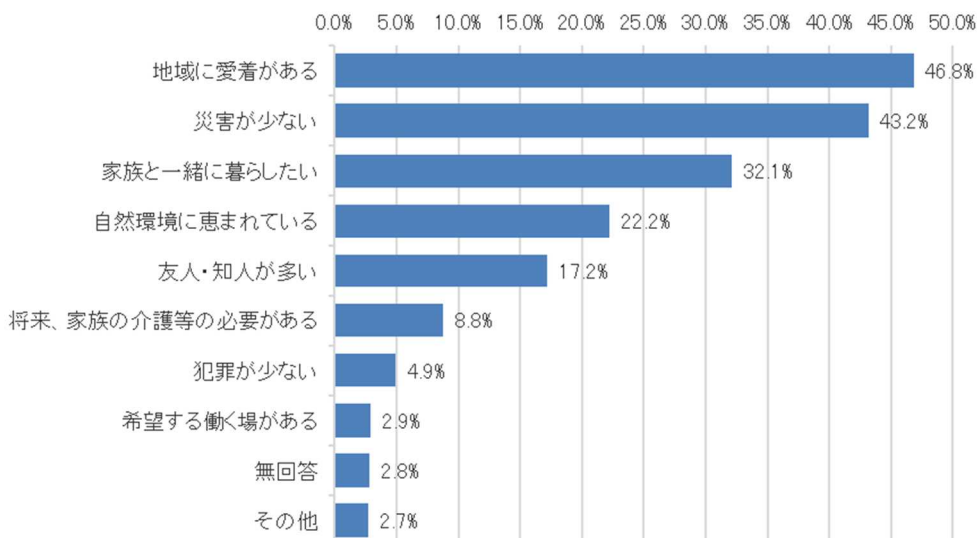
(2) (問3(1)で1、2と答えた方にお聞きします)

将来も香川県に住みたいと思う理由は何ですか。下記の各項目の中からお選びください。(〇は2つまで)

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 地域に愛着がある           | 2 自然環境に恵まれている     |
| 3 希望する働く場がある         | 4 友人・知人が多い        |
| 5 家族と一緒に暮らしたい        | 6 将来、家族の介護等の必要がある |
| 7 犯罪が少ない             | 8 災害が少ない          |
| 9 その他(具体的に記載してください。) |                   |

将来も香川県に住みたいと思う理由として、「地域に愛着がある」が46.8%と最も高く、これに「災害が少ない」が43.2%、「家族と一緒に暮らしたい」が32.1%、「自然環境に恵まれている」が22.2%と続いている。

## 将来も香川県に住みたいと思う理由 (N=1,093)



(3) (問3(1)で3と答えた方にお聞きします)

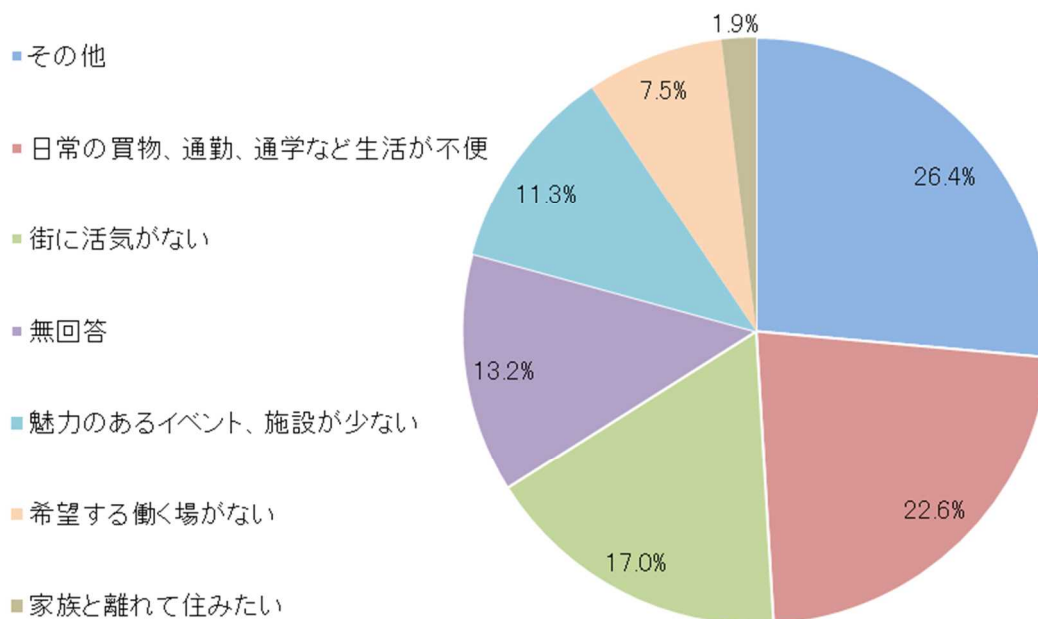
将来、香川県に住みたくないと思う理由は何ですか。下記の各項目の中から1つお選びください。

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 1 日常の買物、通勤、通学など生活が不便    | 2 希望する働く場がない |
| 3 街に活気がない               |              |
| 4 魅力のあるイベント、施設が少ない      |              |
| 5 家族と離れて住みたい            |              |
| 6 その他 ( 具体的に記載してください。 ) |              |

将来、香川県に住みたくないと思う理由として、「その他」が26.4%と最も高く、これに「日常の買物、通勤、通学など生活が不便」が22.6%、「街に活気がない」が17.0%と続いている。

その他の意見としては、「人間性が良くない」、「医療が遅れている」、「空家・廃屋が多く町が美しくない」等の意見があった。

将来、香川県に住みたくないと思う理由 (N=53)

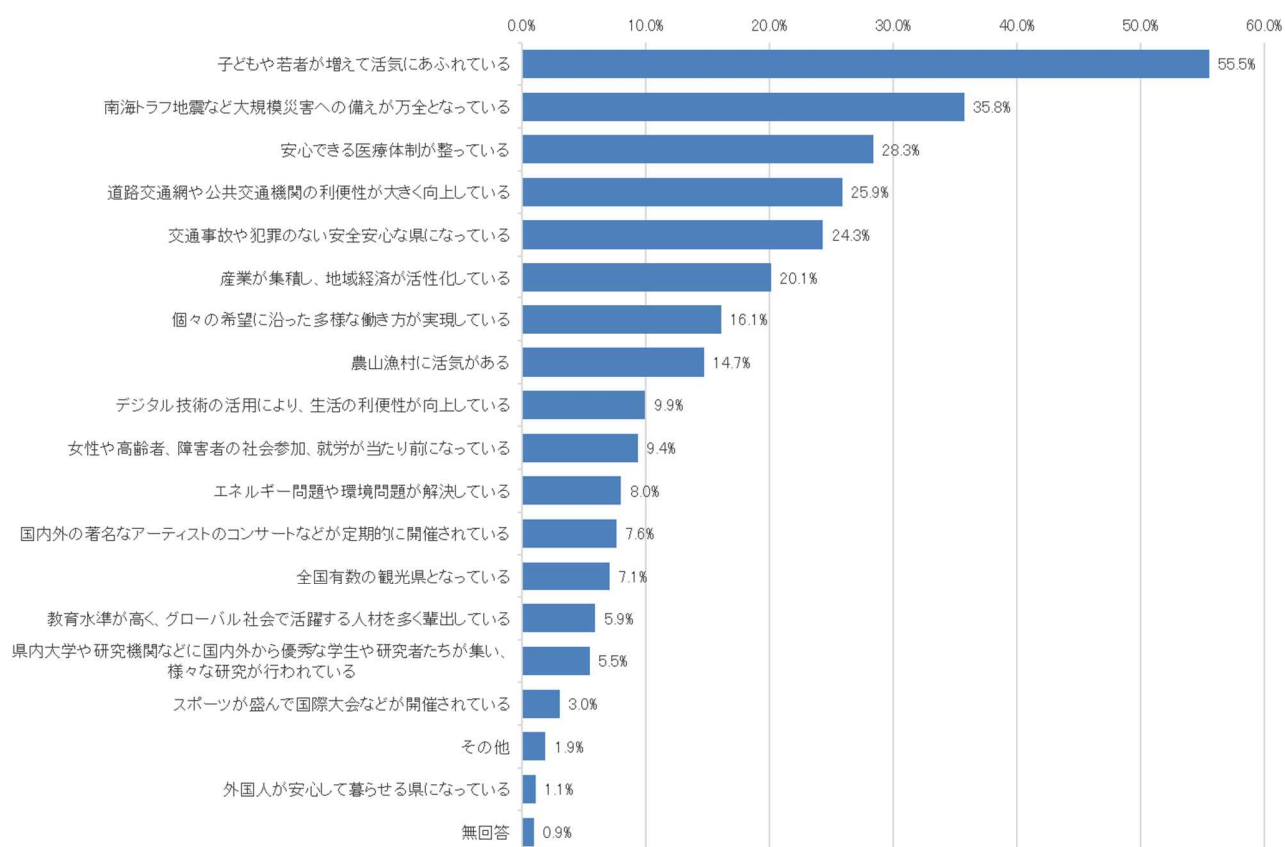


問4 あなたは、10年後にどのような香川県になってほしいと思いますか。（○は3つまで）

- 1 子どもや若者が増えて活気にあふれている
- 2 産業が集積し、地域経済が活性化している
- 3 デジタル技術の活用により、生活の利便性が向上している
- 4 個々の希望に沿った多様な働き方が実現している
- 5 全国有数の観光県となっている
- 6 道路交通網や公共交通機関の利便性が大きく向上している
- 7 安心できる医療体制が整っている
- 8 南海トラフ地震など大規模災害への備えが万全となっている
- 9 交通事故や犯罪のない安全安心な県となっている
- 10 外国人が安心して暮らせる県となっている
- 11 女性や高齢者、障害者の社会参加、就労が当たり前になっている
- 12 県内大学や研究機関などに国内外から優秀な学生や研究者たちが集い、様々な研究が行われている
- 13 教育水準が高く、グローバル社会で活躍する人材を多く輩出している
- 14 エネルギー問題や環境問題が解決している
- 15 農山漁村に活気がある
- 16 スポーツが盛んで国際大会などが開催されている
- 17 国内外の著名なアーティストのコンサートなどが定期的に行われている
- 18 その他（具体的に記載してください。）

10年後になってほしい香川県の姿として、「子どもや若者が増えて活気にあふれている」が55.5%と最も高く、これに「南海トラフ地震など大規模災害への備えが万全となっている」が35.8%、「安心できる医療体制が整っている」が28.3%、「道路交通網や公共交通機関の利便性が大きく向上している」が25.9%、「交通事故や犯罪のない安全安心な県となっている」が24.3%と続いている。

## 10年後になってほしい香川県の姿

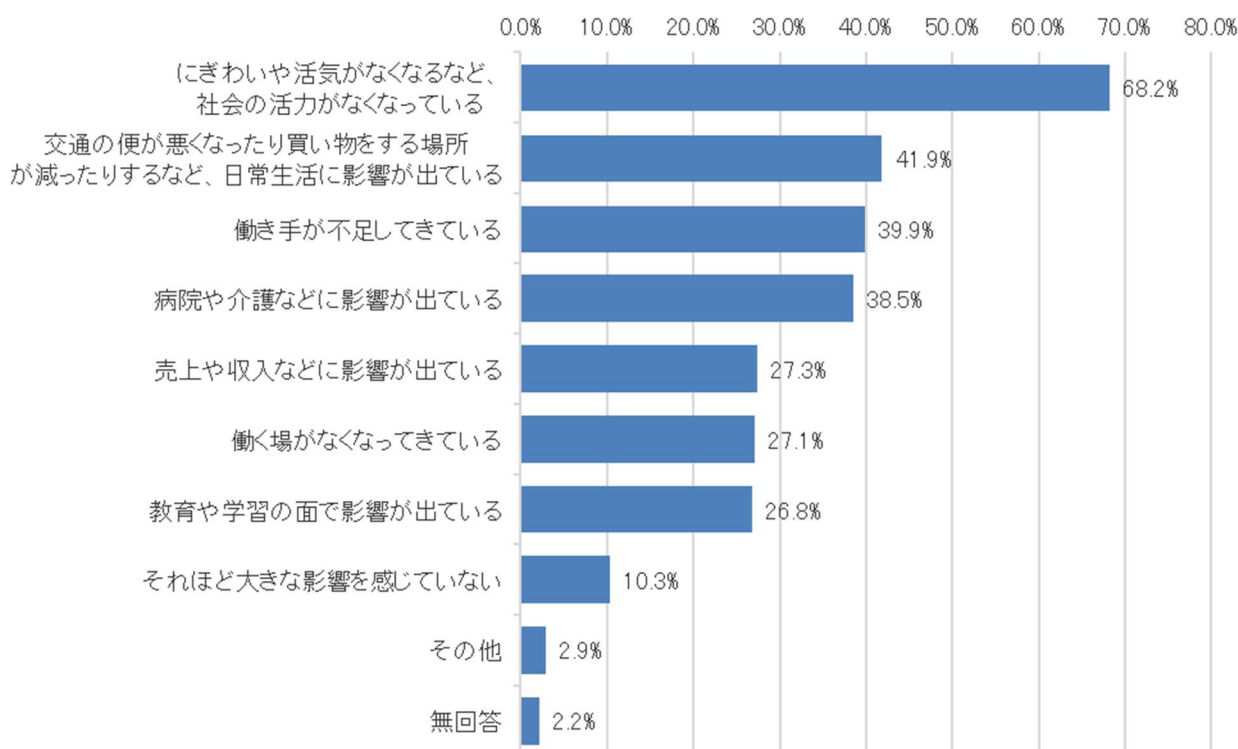


問5 人口減少や少子化の進行が、あなたがお住まいの地域に与えている影響について、どのように思いますか。（〇はいくつでも）

- 1 にぎわいや活気がなくなるなど、社会の活力がなくなっている
- 2 交通の便が悪くなったり買い物をする場所が減ったりするなど、日常生活に影響が出ている
- 3 病院や介護などに影響が出ている
- 4 教育や学習の面で影響が出ている
- 5 働く場がなくなってきたり
- 6 働き手が不足してきている
- 7 売上や収入などに影響が出ている
- 8 それほど大きな影響を感じていない
- 9 その他（具体的に記載してください。）

人口減少や少子化の進行がお住まいの地域に与えている影響として、「にぎわいや活気がなくなるなど、社会の活力がなくなっている」が68.2%と最も高く、これに「交通の便が悪くなったり買い物をする場所が減ったりするなど、日常生活に影響が出ている」が41.9%、「働き手が不足してきてい」が39.9%、「病院や介護などに影響が出ている」が38.5%と続いている。

人口減少や少子化の進行がお住まいの地域に与えている影響

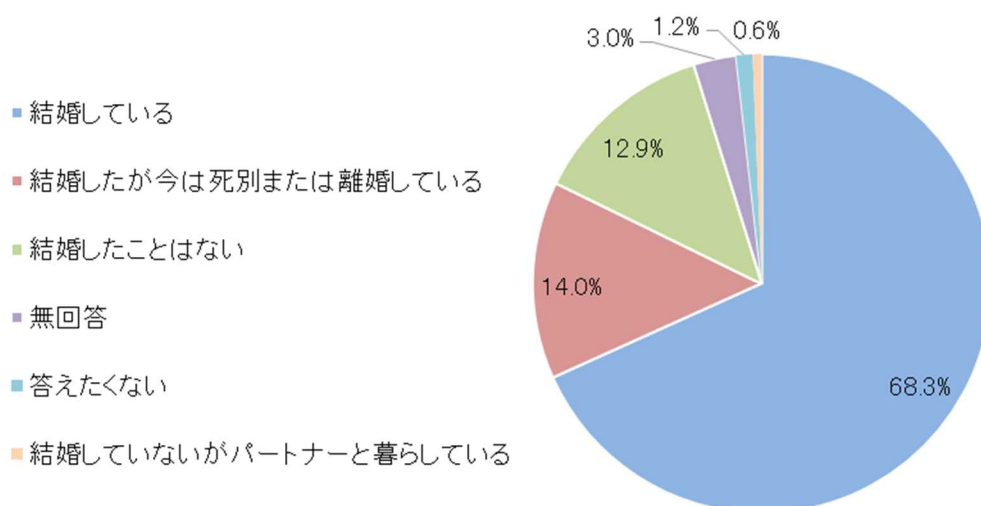


問6 あなたは、現在結婚していらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 結婚している
- 2 結婚していないがパートナーと暮らしている
- 3 結婚したが今は死別または離婚している
- 4 結婚したことはない
- 5 答えたくない

現在結婚しているかどうかについて、「結婚している」が68.3%と最も高く、これに「結婚したが今は死別または離婚している」が14.0%、「結婚したことはない」が12.9%と続いている。

現在結婚しているか



【問6で「4 結婚したことはない」と答えた方にお聞きします】

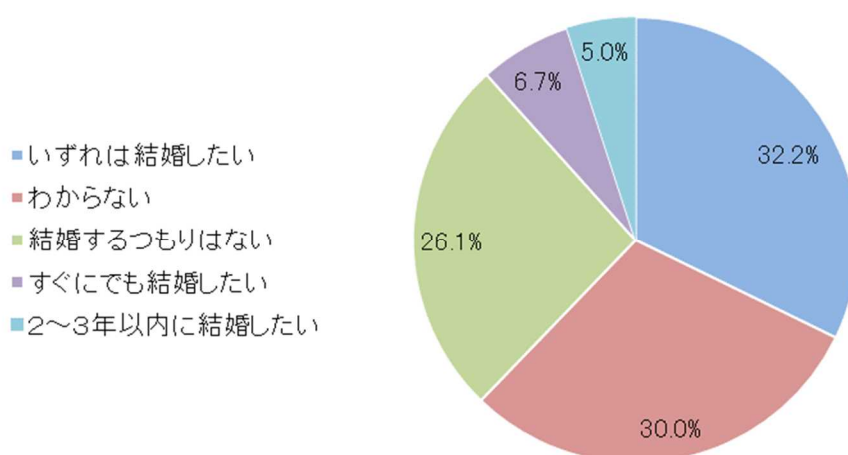
問7 あなたは、将来結婚したいと思いますか。(○は1つ)

- 1 すぐにでも結婚したい
- 2 2～3年以内に結婚したい
- 3 いずれは結婚したい
- 4 結婚するつもりはない
- 5 わからない

将来結婚したいと思うかどうかについて、「いずれは結婚したい」が32.2%と最も高く、これに「わからない」が30.0%、「結婚するつもりはない」が26.1%、「すぐにでも結婚したい」が6.7%と続いている。



将来結婚したいと思うか（N=180）



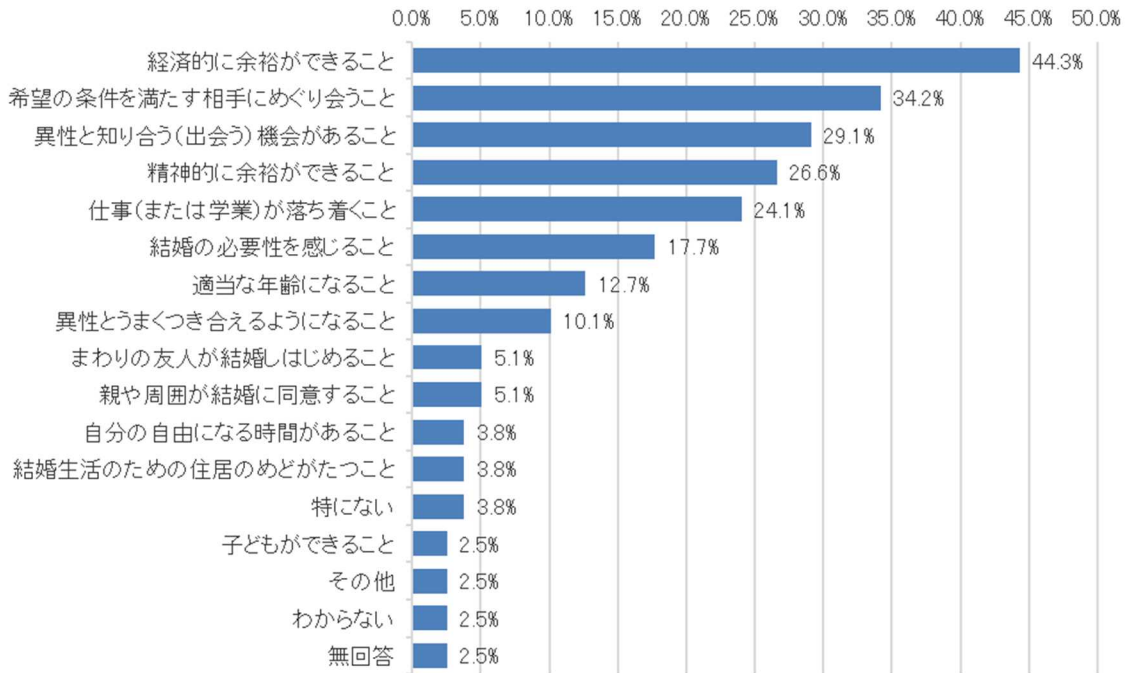
【問7で「1～3 結婚したい」と答えた方にお聞きします】

問8 あなたは、どのような状況になれば結婚すると思いますか。  
ご自分にあてはまると思われることを選んでください。（○は3つまで）

- 1 適当な年齢になること
- 2 結婚の必要性を感じることに
- 3 仕事（または学業）が落ち着くこと
- 4 まわりの友人が結婚しはじめること
- 5 自分の自由になる時間があること
- 6 異性と知り合う（出会う）機会があること
- 7 希望の条件を満たす相手にめぐり会うこと
- 8 異性とうまくつき合えるようになること
- 9 経済的に余裕ができること
- 10 精神的に余裕ができること
- 11 結婚生活のための住居のめどがたつこと
- 12 親や周囲が結婚に同意すること
- 13 子どもができること
- 14 その他（具体的に記載してください。）
- 15 特になし
- 16 わからない

どのような状況になれば結婚すると思うかについて、「経済的に余裕ができること」が44.3%と最も高く、これに「希望の条件を満たす相手にめぐり会うこと」が34.2%、「異性と知り合う（出会う）機会があること」が29.1%、「精神的に余裕ができること」が26.6%、「仕事（または学業）が落ち着くこと」が24.1%と続いている。

## どのような状況になれば結婚すると思うか (N=79)



### 【50歳未満の方にお聞きします】

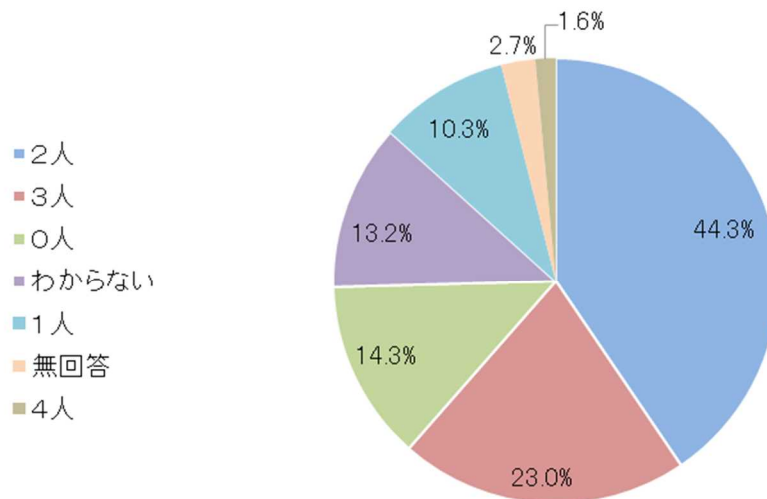
問9 あなたは、全部で何人の子どもの欲しいですか。

すでにお子さんがある場合には、そのお子さんも含めてお答えください。(○は1つ)

- 1 0人
- 2 1人
- 3 2人
- 4 3人
- 5 4人
- 6 5人以上
- 7 わからない

欲しい子どもの数について、「2人」が44.3%と最も高く、これに「3人」が23.0%、「0人」が14.3%、「わからない」が13.2%、「1人」が10.3%と続いている。

欲しい子どもの数 (N=370)



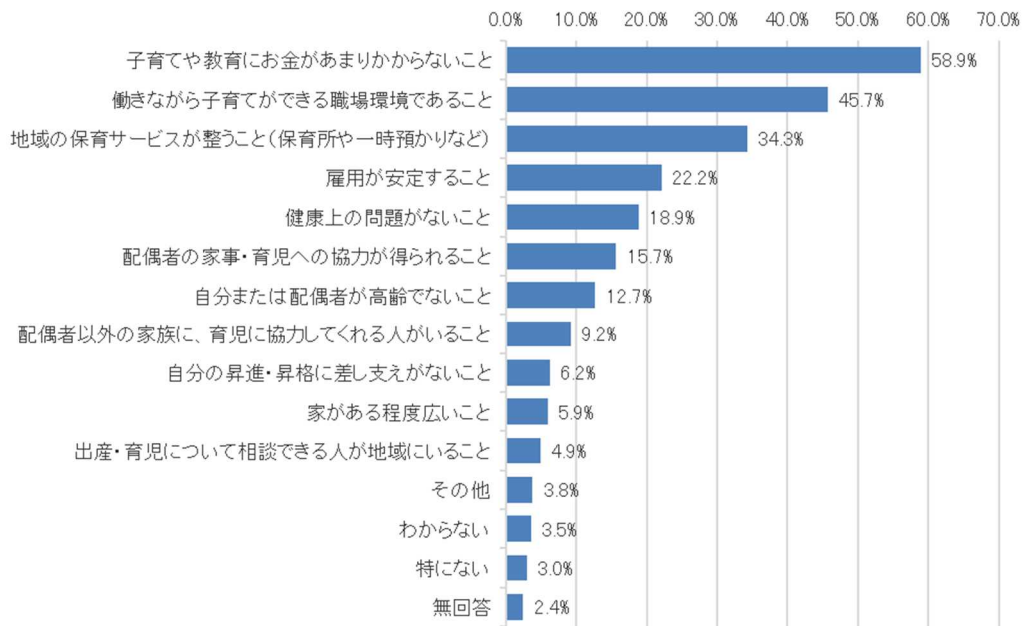
【50歳未満の方にお聞きします】

問10 あなたが今後、子どもを持つ場合の条件として今足りないのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎる
- 2 地域の保育サービスが整うこと(保育所や一時預かりなど)
- 3 出産・育児について相談できる人が地域にいること
- 4 雇用が安定すること
- 5 働きながら子育てができる職場環境であること
- 6 自分の昇進・昇格に差し支えがないこと
- 7 家がある程度広いこと
- 8 自分または配偶者が高齢でないこと
- 9 健康上の問題がないこと
- 10 配偶者の家事・育児への協力が得られること
- 11 配偶者以外の家族に、育児に協力してくれる人がいること
- 12 その他(具体的に記載してください。)
- 13 特になし
- 14 わからない

今後、子どもを持つ場合の条件として今足りないものについて、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が58.9%と最も高く、これに「働きながら子育てができる職場環境であること」が45.7%、「地域の保育サービスが整うこと(保育所や一時預かりなど)」が34.3%、「雇用が安定すること」が22.2%と続いている。

## 今後、子どもを持つ場合の条件として今足りないもの（N=370）



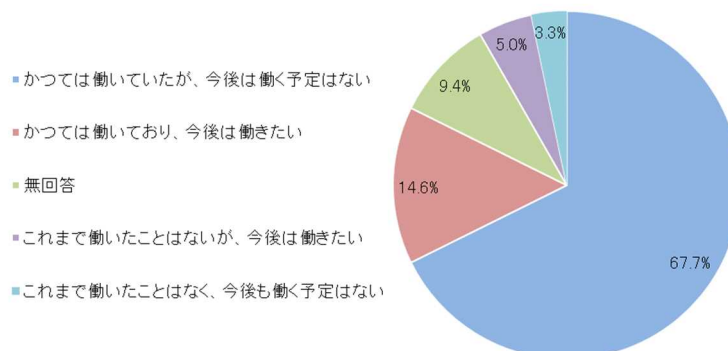
### 【主夫（婦）、その他・無職の方にお聞きします】

問 11 あなたはこれまで働いていましたか。また、今後働く予定はありますか。（○は1つ）

- 1 かつては働いており、今後は働きたい
- 2 これまで働いたことはないが、今後は働きたい
- 3 かつては働いていたが、今後は働く予定はない
- 4 これまで働いたことはなく、今後も働く予定はない

これまで働いていたかどうかについて、「かつては働いていたが、今後は働く予定はない」が67.7%と最も高く、これに「かつては働いており、今後は働きたい」が14.6%、「無回答」が9.4%と続いている。

### これまで働いていたかどうか（N=458）



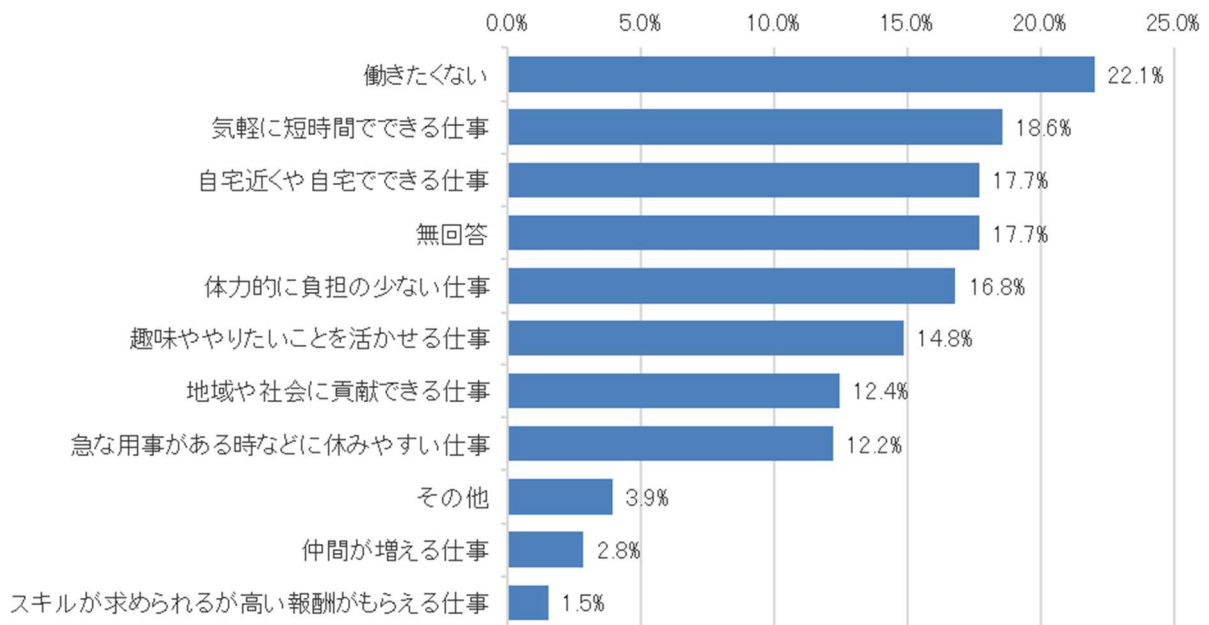
【主夫（婦）、その他・無職の方にお聞きします】

問 12 どのような仕事があれば働こうと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 自宅近くや自宅でできる仕事
- 2 趣味ややりたいことを活かせる仕事
- 3 地域や社会に貢献できる仕事
- 4 気軽に短時間でできる仕事
- 5 体力的に負担の少ない仕事
- 6 仲間が増える仕事
- 7 スキルが求められるが高い報酬がもらえる仕事
- 8 急な用事がある時などに休みやすい仕事
- 9 働きたくない
- 10 その他（具体的に記載してください。）

どのような仕事があれば働こうと思うかについて、「働きたくない」が22.1%と最も高く、これに「気軽に短時間でできる仕事」が18.6%、「自宅近くや自宅でできる仕事」と「無回答」が17.7%、「体力的に負担の少ない仕事」が16.8%と続いている。

どのような仕事があれば働こうと思うか（N=458）

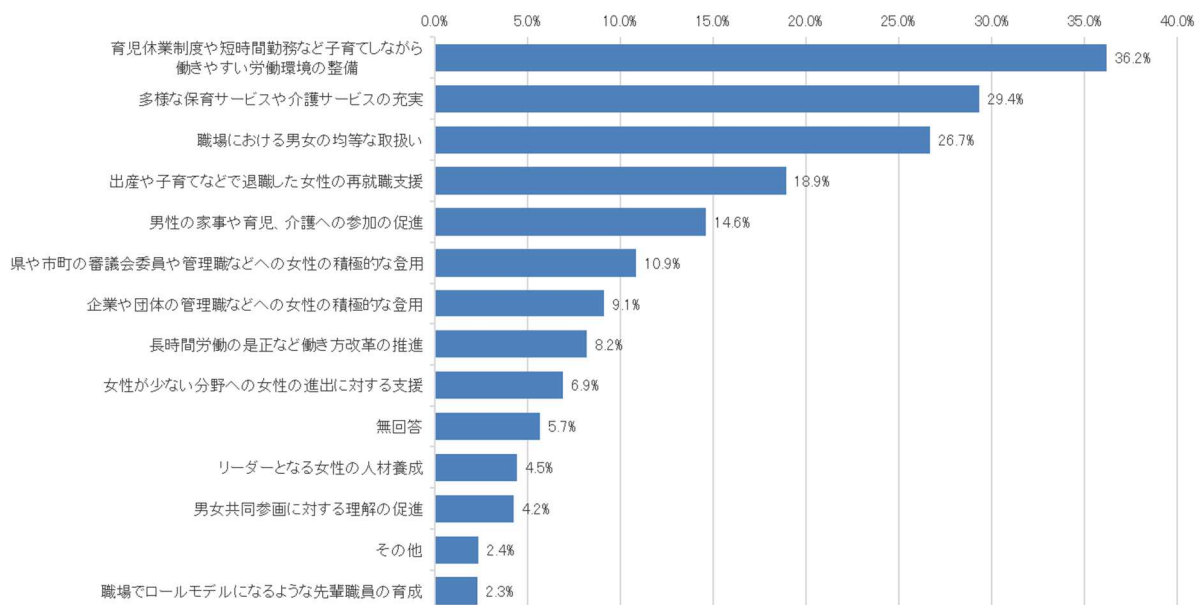


問 13 地域の主要な担い手として女性が活躍する香川を実現するうえで、どのようなことが重要だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 県や市町の審議会委員や管理職などへの女性の積極的な登用
- 2 企業や団体の管理職などへの女性の積極的な登用
- 3 職場における男女の均等な取扱い
- 4 多様な保育サービスや介護サービスの充実
- 5 育児休業制度や短時間勤務など子育てしながら働きやすい労働環境の整備
- 6 長時間労働の是正など働き方改革の推進
- 7 女性が少ない分野への女性の進出に対する支援
- 8 男性の家事や育児、介護への参加の促進
- 9 男女共同参画に対する理解の促進
- 10 出産や子育てなどで退職した女性の再就職支援
- 11 リーダーとなる女性の人材養成
- 12 職場でロールモデルになるような先輩職員の育成
- 13 その他（具体的に記載してください。）

地域の主要な担い手として女性が活躍する香川を実現するうえで重要だと思うことについて、「育児休業制度や短時間勤務など子育てしながら働きやすい労働環境の整備」が36.2%と最も高く、これに「多様な保育サービスや介護サービスの充実」が29.4%、「職場における男女の均等な取扱い」が26.7%、「出産や子育てなどで退職した女性の再就職支援」が18.9%、「男性の家事や育児、介護への参加の促進」が14.6%と続いている。

### 地域の主要な担い手として女性が活躍する香川を実現するうえで重要だと思うこと

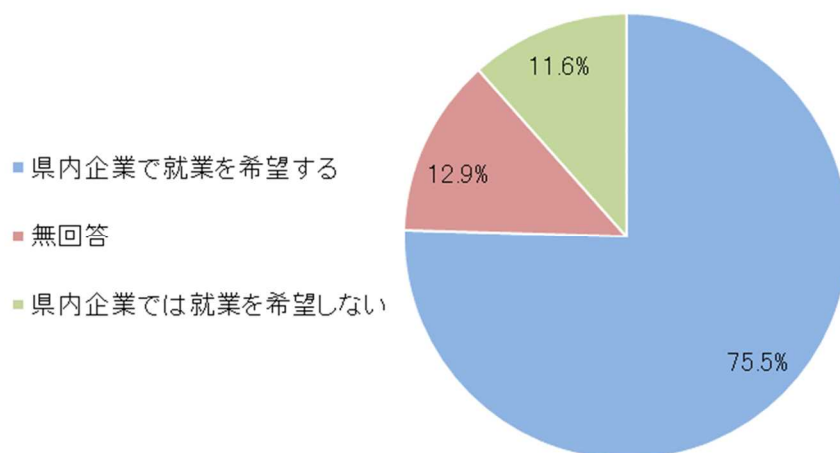


問 14 これから新たに就業すると仮定して、あなたは県内企業で就職を希望しますか。

- 1 県内企業で就業を希望する
- 2 県内企業では就業を希望しない

これから新たに就業すると仮定して、県内企業で就職を希望するかどうかについて、「県内企業で就業を希望する」が 75.5%と最も高く、これに無回答が 12.9%、「県内企業では就業を希望しない」が 11.6%と続いている。

これから新たに就業すると仮定して、県内企業で就職を希望するか



【問 14 で 2 と答えた方にお聞きします】

問 15 県内企業で就業を希望しない理由としてあてはまるものをお答えください。

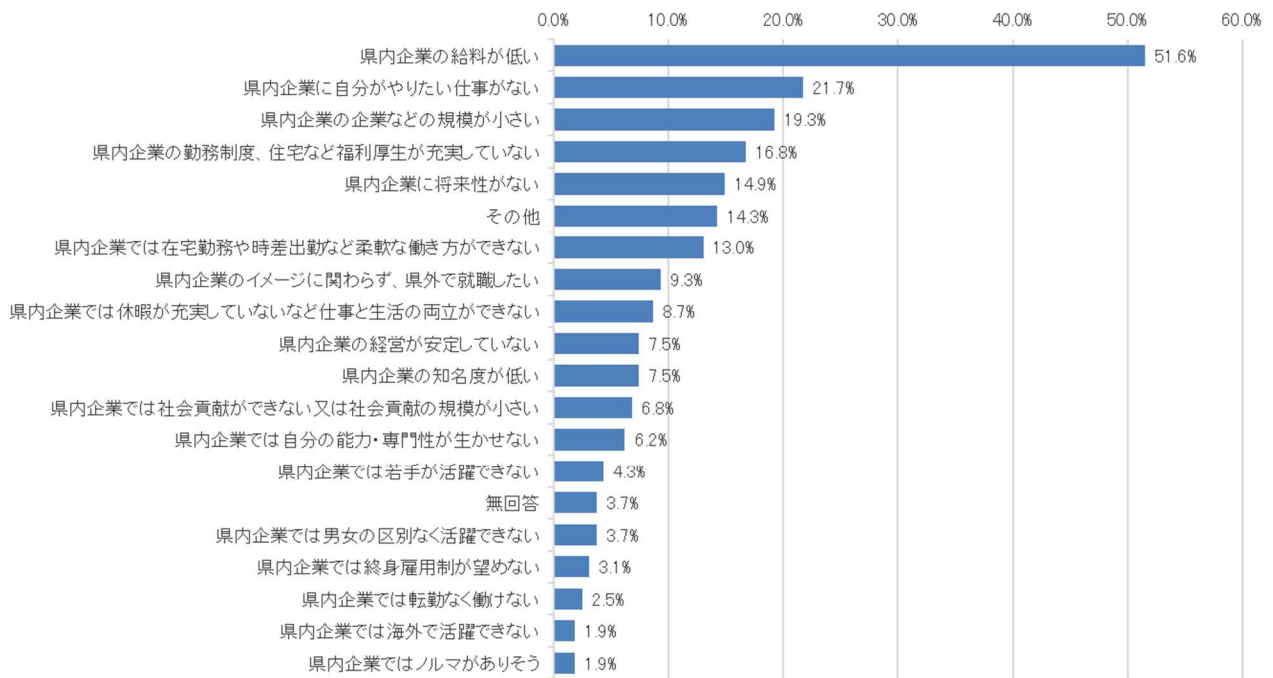
(○は3つまで)

- 1 県内企業のイメージに関わらず、県外で就職したい
- 2 県内企業に自分がやりたい仕事がない
- 3 県内企業の経営が安定していない
- 4 県内企業に将来性がない
- 5 県内企業の給料が低い
- 6 県内企業では休暇が充実していないなど仕事と生活の両立ができない
- 7 県内企業では社会貢献ができない又は社会貢献の規模が小さい
- 8 県内企業の勤務制度、住宅など福利厚生が充実していない
- 9 県内企業では男女の区別なく活躍できない
- 10 県内企業では自分の能力・専門性が生かせない
- 11 県内企業では転勤なく働けない
- 12 県内企業では若手が活躍できない
- 13 県内企業では在宅勤務や時差出勤など柔軟な働き方ができない
- 14 県内企業の企業などの規模が小さい
- 15 県内企業の知名度が低い
- 16 県内企業では海外で活躍できない
- 17 県内企業では終身雇用制が望めない
- 18 県内企業ではノルマがありそう
- 19 その他 ( 具体的に記載してください。 )

県内企業で就業を希望しない理由として、「県内企業の給料が低い」が51.6%と最も高く、これに「県内企業に自分がやりたい仕事がない」が21.7%、「県内企業の企業などの規模が小さい」が19.3%、「県内企業の勤務制度、住宅など福利厚生が充実していない」が16.8%、「県内企業に将来性がない」が14.9%と続いている。



## 県内企業で就業を希望しない理由（N=161）



問 16 新型コロナウイルス感染症を契機として、意識が変化したり、地域社会が変容したと感じることはありますか。（○はいくつでも）

1 結婚観が変わった

⇒どのように変わったか教えてください。

・結婚願望が強くなった ・結婚願望が弱くなった、なくなった

2 希望する子どもの人数が変わった

⇒どのように変わったか教えてください。

・希望人数が多くなった ・希望人数が少なくなった

3 自分又は子どもの就職場所に対する考え方が変わった

⇒どのように変わったか教えてください。

・県内での就職を希望するようになった

・県外での就職を希望するようになった

・その他（具体的に記載してください。）

4 心と体の健康づくりを意識するようになった

5 仕事と家庭の両立を意識するようになった

6 職場においてテレワークなど柔軟な働き方の導入が推進された

7 子育てや雇用環境の整備等を通して、女性の活躍を推進すべきと感じるようになった

8 オンライン会議やインターネットショッピング等の利用機会が増え、ICTの利便性を感じるようになった

9 手続きのオンライン化や情報のオープンデータ化など行政のデジタル化を推進すべきと感じるようになった

10 大都市への人口集中を是正すべきと感じるようになった

11 マスク等を着用していない人と間近に接することが怖くなった

12 今後、感染状況が落ち着いても、医療機関での受診は減らそうと思うようになった

13 人と接する機会が減り孤立感を感じるようになった

14 レジャーや出歩くことを我慢しなければならないと感じるようになった

15 貯蓄や安定的な収入源の確保の必要性を感じるようになった

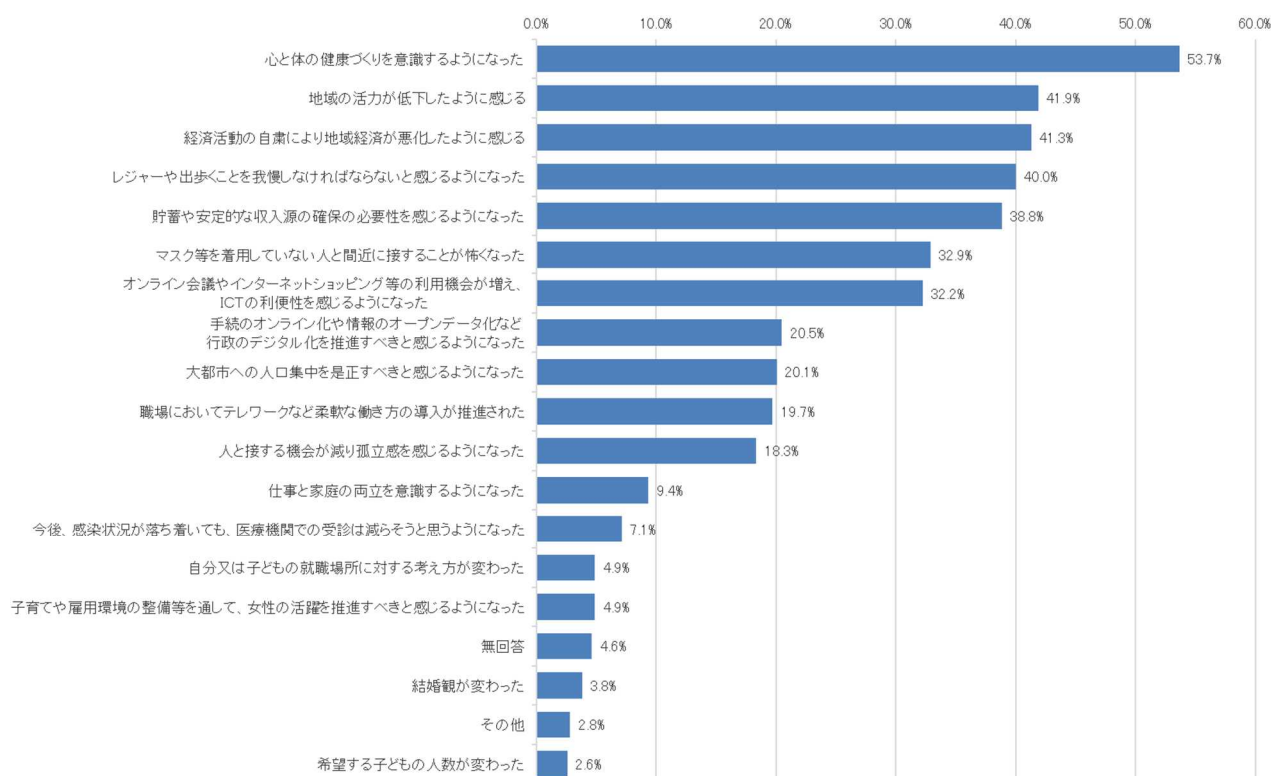
16 経済活動の自粛により地域経済が悪化したように感じる

17 地域の活力が低下したように感じる

18 その他（具体的に記載してください。）

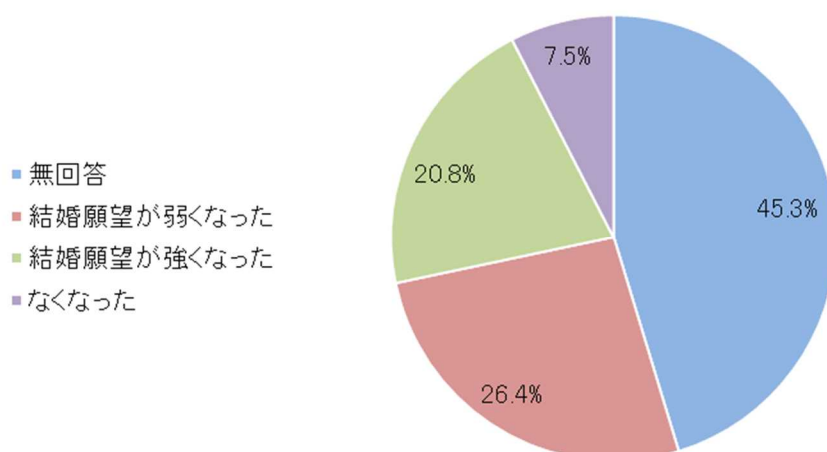
新型コロナウイルス感染症を契機として、意識が変化したり、地域社会が変容したと感じることはあるかどうかについて、「心と体の健康づくりを意識するようになった」が53.7%と最も高く、これに「地域の活力が低下したように感じる」が41.9%、「経済活動の自粛により地域経済が悪化したように感じる」が41.3%、「レジャーや出歩くことを我慢しなければならないと感じるようになった」が40.0%、「貯蓄や安定的な収入源の確保の必要性を感じるようになった」が38.8%と続いている。

## 新型コロナウイルス感染症を契機として、意識が変化したり、地域社会が変容したと感ずることはあるか



### 付記1 結婚観が変わった方について、どのように変わったか。(N=53)

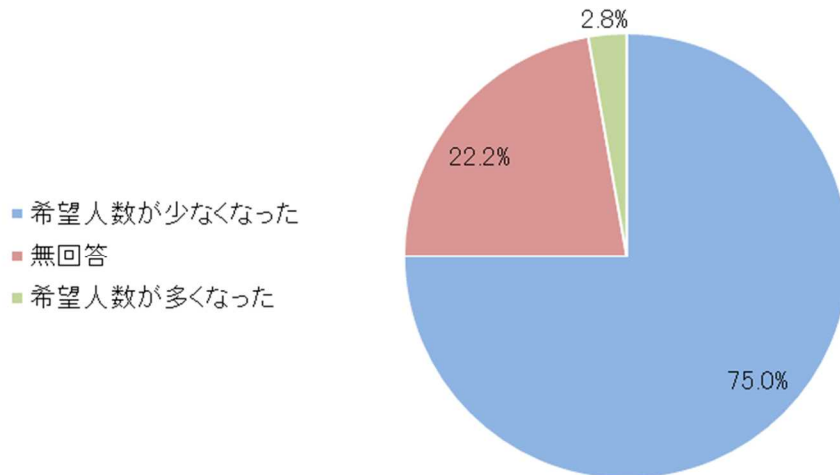
「無回答」が45.3%と最も高く、これに「結婚願望が弱くなった」が26.4%、「結婚願望が強くなった」が20.8%と続いている。



付記2 希望する子どもの人数が変わった方について、どのように変わったか。

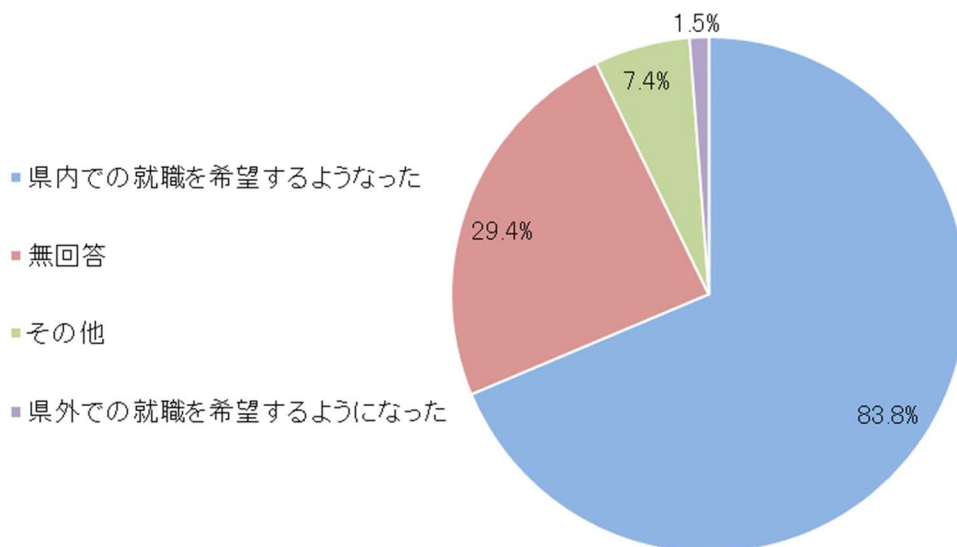
(N=36)

「希望人数が少なくなった」が75.0%、「無回答」が22.2%、「希望人数が多くなった」が2.8%となっている。



付記3 自分又は子どもの就職場所に対する考え方が変わった方について、どのように変わったか。(N=68)

「県内での就職を希望するようになった」が83.8%と最も高く、これに「無回答」が29.4%、「その他」が7.4%、「県外での就職を希望するようになった」が1.5%と続いている。

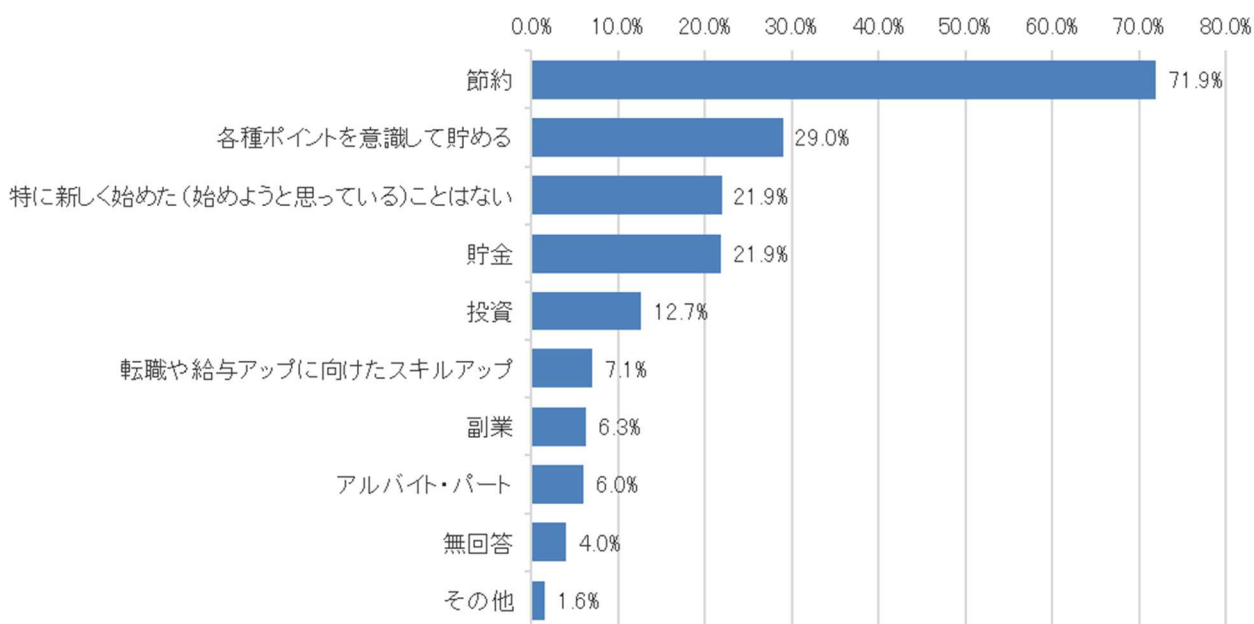


問 17 昨今の物価高騰対策として、新しく始めたこと又は始めようと思っていることは何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 特に新しく始めた（始めようと思っている）ことはない
- 2 節約
- 3 各種ポイントを意識して貯める
- 4 投資
- 5 貯金
- 6 副業
- 7 アルバイト・パート
- 8 転職や給与アップに向けたスキルアップ
- 9 その他（具体的に記載してください。）

昨今の物価高騰対策として、新しく始めたこと又は始めようと思っていることについて、「節約」が71.9%と最も高く、これに「各種ポイントを意識して貯める」が29.0%、「特に新しく始めた（始めようと思っている）ことはない」と「貯金」が21.9%、「投資」が12.7%と続いている。

昨今の物価高騰対策として、新しく始めたこと又は始めようと思っていること

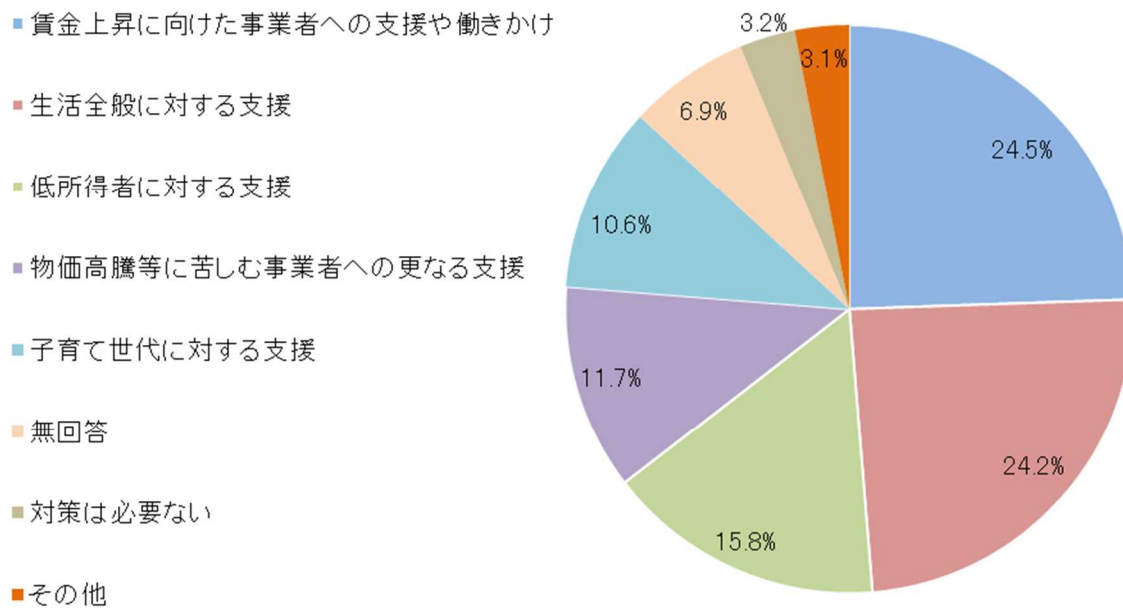


問 18 物価高騰に対する対策として、どのような対策が重要だと思いますか。（○は1つ）

- 1 生活全般に対する支援  
（例：電子クーポンの配布、マイナポイントの上乗せなど）
- 2 物価高騰等に苦しむ事業者への更なる支援  
（例：支援金の給付、中小企業者への資金繰り、燃料・原材料・飼料等の高騰に対する助成、省エネ設備への転換など設備投資への補助など）
- 3 賃金上昇に向けた事業者への支援や働きかけ
- 4 低所得者に対する支援  
（例：給付金の上乗せ、食糧・生活必需品等の給付、灯油購入助成など）
- 5 子育て世代に対する支援  
（例：給付金の上乗せ・対象世帯の拡充、おむつ・ミルクなど子育て用品の配布など）
- 6 対策は必要ない
- 7 その他（具体的に記載してください。）

物価高騰に対する対策として重要だと思うこととして、「賃金上昇に向けた事業者への支援や働きかけ」が24.5%と最も高く、これに「生活全般に対する支援」が24.2%、「低所得者に対する支援」が15.8%、「物価高騰等に苦しむ事業者への更なる支援」が11.7%、「子育て世代に対する支援」が10.6%と続いている。

物価高騰に対する対策として重要だと思うこと

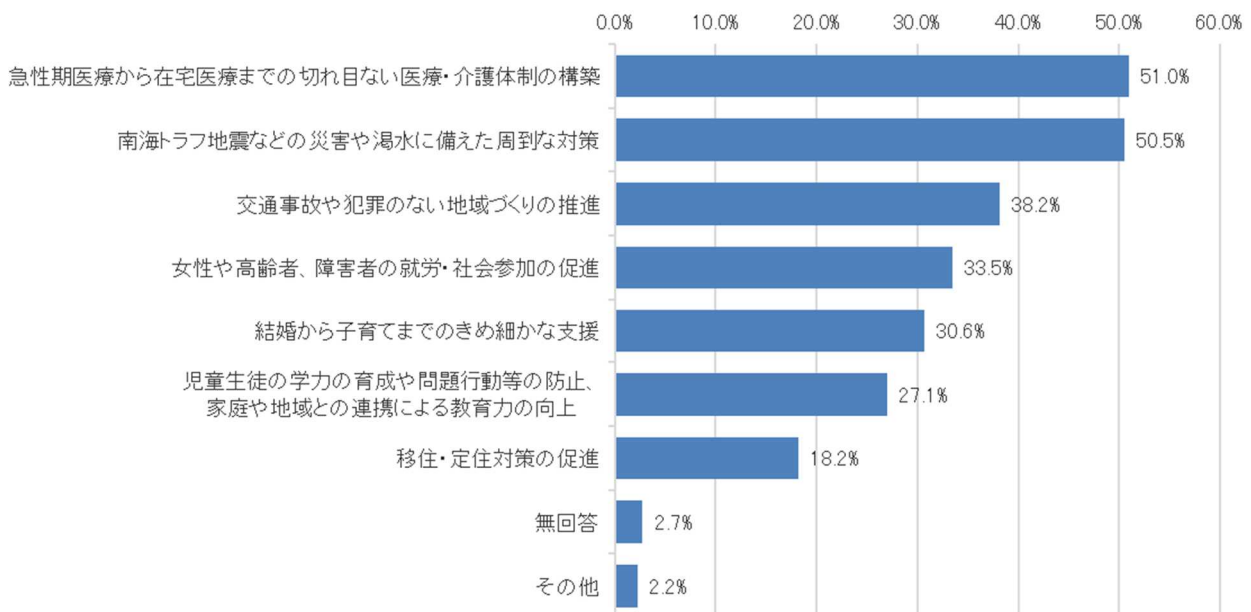


問 19 あなたは、年齢や性別、障害の有無などに関わらず、誰もが安全・安心に暮らせる、住みたくなる香川をつくっていくために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 結婚から子育てまでのきめ細かな支援
- 2 児童生徒の学力の育成や問題行動等の防止、家庭や地域との連携による教育力の向上
- 3 女性や高齢者、障害者の就労・社会参加の促進
- 4 急性期医療から在宅医療までの切れ目ない医療・介護体制の構築
- 5 南海トラフ地震などの災害や渇水に備えた周到な対策
- 6 交通事故や犯罪のない地域づくりの推進
- 7 移住・定住対策の促進
- 8 その他（具体的に記載してください。）

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、誰もが安全・安心に暮らせる、住みたくなる香川をつくっていくために、必要だと思うこととして、「急性期医療から在宅医療までの切れ目ない医療・介護体制の構築」が51.0%と最も高く、これに「南海トラフ地震などの災害や渇水に備えた周到な対策」が50.5%、「交通事故や犯罪のない地域づくりの推進」が38.2%、「女性や高齢者、障害者の就労・社会参加の促進」が33.5%、「結婚から子育てまでのきめ細かな支援」が30.6%と続いている。

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、誰もが安全・安心に暮らせる、住みたくなる香川をつくっていくために、必要だと思うこと

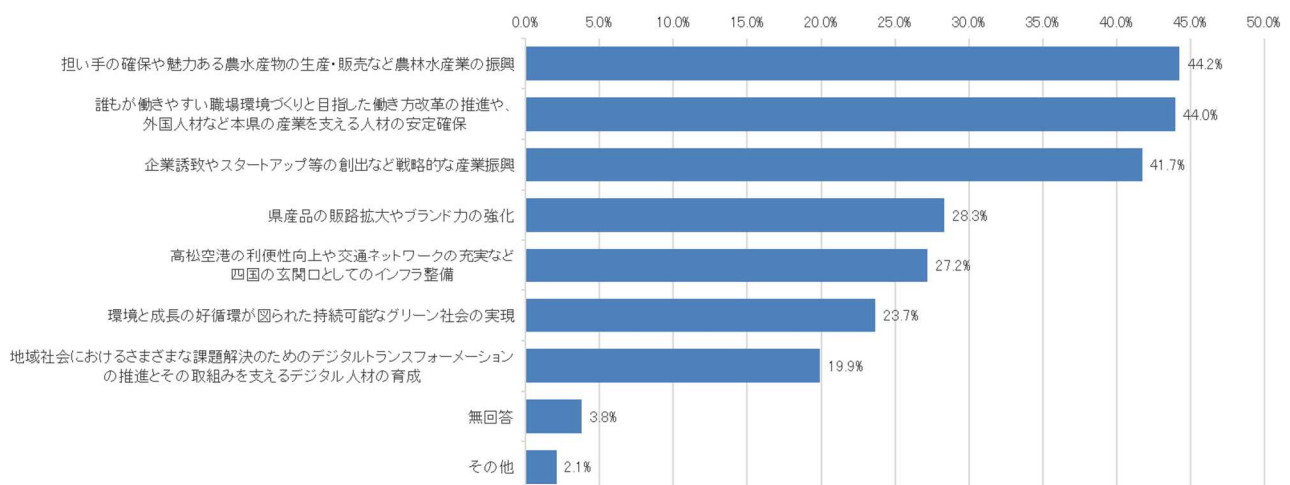


問 20 あなたは、経済発展に向け、活気に満ち挑戦できる香川をつくっていくために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 企業誘致やスタートアップ等の創出など戦略的な産業振興
- 2 高松空港の利便性向上や交通ネットワークの充実など四国の玄関口としてのインフラ整備
- 3 担い手の確保や魅力ある農水産物の生産・販売など農林水産業の振興
- 4 県産品の販路拡大やブランド力の強化
- 5 誰もが働きやすい職場環境づくりと目指した働き方改革の推進や、外国人材など本県の産業を支える人材の安定確保
- 6 環境と成長の好循環が図られた持続可能なグリーン社会の実現
- 7 地域社会におけるさまざまな課題解決のためのデジタルトランスフォーメーションの推進とその取組みを支えるデジタル人材の育成
- 8 その他（具体的に記載してください。）

経済発展に向け、活気に満ち挑戦できる香川をつくっていくために、必要だと思うこととして、「担い手の確保や魅力ある農水産物の生産・販売など農林水産業の振興」が44.2%と最も高く、これに「誰もが働きやすい職場環境づくりと目指した働き方改革の推進や、外国人材など本県の産業を支える人材の安定確保」が44.0%、「企業誘致やスタートアップ等の創出など戦略的な産業振興」が41.7%、「県産品の販路拡大やブランド力の強化」が28.3%、「高松空港の利便性向上や交通ネットワークの充実など四国の玄関口としてのインフラ整備」が27.2%と続いている。

経済発展に向け、活気に満ち挑戦できる香川をつくっていくために、  
必要だと思うこと



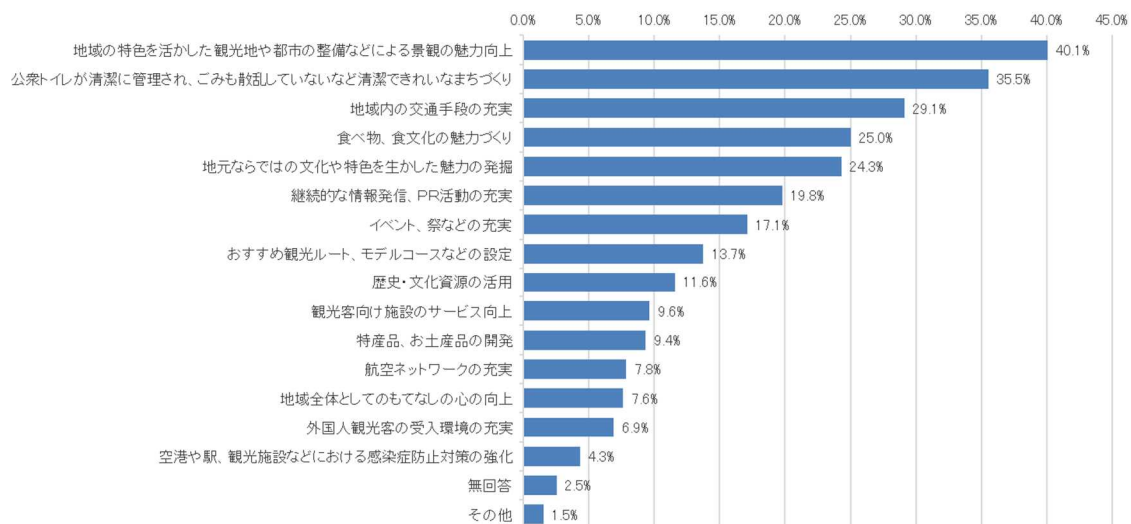


問 21 あなたは、多くの人が行き交い訪れたいくなる香川をつくっていくために、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 地域の特色を活かした観光地や都市の整備などによる景観の魅力向上
- 2 公衆トイレが清潔に管理され、ごみも散乱していないなど清潔できれいなまちづくり
- 3 歴史・文化資源の活用
- 4 食べ物、食文化の魅力づくり
- 5 地元ならではの文化や特色を生かした魅力の発掘
- 6 イベント、祭などの充実
- 7 特産品、お土産品の開発
- 8 地域内の交通手段の充実
- 9 おすすめ観光ルート、モデルコースなどの設定
- 10 観光客向け施設のサービス向上
- 11 地域全体としてのもてなしの心の向上
- 12 継続的な情報発信、PR活動の充実
- 13 空港や駅、観光施設などにおける感染症防止対策の強化
- 14 航空ネットワークの充実
- 15 外国人観光客の受入環境の充実
- 16 その他（具体的に記載してください。）

多くの人が行き交い訪れたいくなる香川をつくっていくために、必要だと思うこととして、「地域の特色を活かした観光地や都市の整備などによる景観の魅力向上」が40.1%と最も高く、これに「公衆トイレが清潔に管理され、ごみも散乱していないなど清潔できれいなまちづくり」が35.5%、「地域内の交通手段の充実」が29.1%、「食べ物、食文化の魅力づくり」が25.0%、「地元ならではの文化や特色を生かした魅力の発掘」が24.3%と続いている。

### 多くの人が行き交い訪れたいくなる香川をつくっていくために、必要だと思うこと



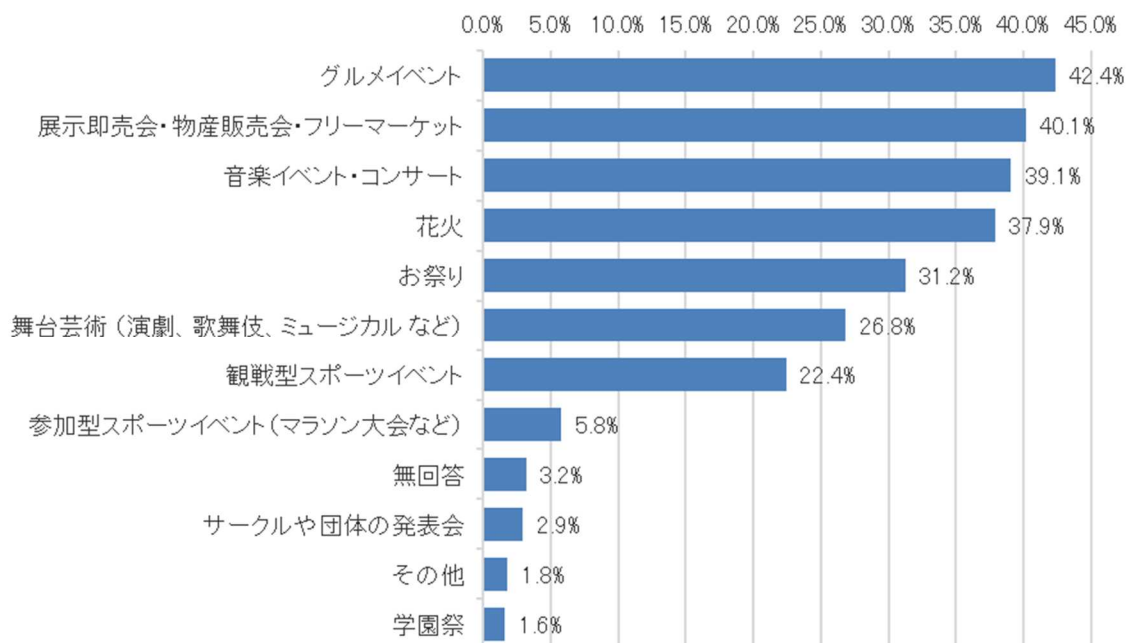
問 22 あなたが足を運んで行ってみたいと思うイベントはどのようなものですか。

(○は3つまで)

- 1 お祭り
- 2 花火
- 3 音楽イベント・コンサート
- 4 グルメイVENT
- 5 参加型スポーツイベント (マラソン大会など)
- 6 観戦型スポーツイベント
- 7 舞台芸術 (演劇、歌舞伎、ミュージカル など)
- 8 展示即売会・物産販売会・フリーマーケット
- 9 学園祭
- 10 サークルや団体の発表会
- 11 その他 ( 具体的に記載してください。 )

足を運んで行ってみたいと思うイベントとして、「グルメイVENT」が42.4%と最も高く、これに「展示即売会・物産販売会・フリーマーケット」が40.1%、「音楽イベント・コンサート」が39.1%、「花火」が37.9%、「お祭り」が31.2%と続いている。

#### 足を運んで行ってみたいと思うイベント



F 6 その他、香川県に対するご意見やメッセージなどがあれば、自由にご記入ください。

香川県に対する意見やメッセージについて、記入した人は425人で、この調査の回答者総数（1,390人）の30.6%にあたる。

記入内容を整理すると、主な意見の上位5位は次のとおりであった。

記入内容	件数	割合（%）
1 公共交通の維持、充実	86	6.2
2 福祉、医療、子育て支援の充実	83	6.0
3 魅力の向上、街の活性化	72	5.2
4 住みやすく、豊かな県づくり	41	2.9
5 観光客の誘致、観光地づくり	36	2.6